

駒ヶ根シルクミュージアムは、生きたカイコから絹製品に至るまで、養蚕やカイコ、シルクに関するモノと知識がたくさん詰まったミュージアムです。日本では白いまゆを作るカイコが主流ですが、世界では黄色やオレンジのまゆを作るものもいます。カイコしか生み出せない「シルク」の不思議な世界をここで発見しませんか。体験工房を併設しており、お子さんから大人まで気軽にまゆ細工や機織り体験などができます。

かつて長野県は、養蚕が盛んで多くの製糸会社がありました。大手製糸会社がある中、上伊那では養蚕農家が集まった会社「龍水社」*が生まれました。館内には「龍水社」の歴史から実際使われていた製糸機器なども展示されており、地域の養蚕に関する歴史を学ぶこともできます。

『龍水社』*：産業組合法制定後、全国でいち早く組合製糸を設立。伊那谷の製糸工場を連合させながら発展しました。養蚕・製糸とそれにかかわる社員への学校教育を実施し、地域の人々のくらしを支えた歴史があります。

～“カイコは究極の家畜”?!～

カイコと人間との歴史は古く、今から5,000年以上前からカイコからとれた絹糸を利用してきました。カイコの成虫(蛾)は羽があっても飛ぶことができません。幼虫は桑の葉(餌)を与えられるまで待ち、自ら進んで食べ物を探ることができません。交尾して卵を産むことも人の手を借りなければ成立しない生き物に進化してきました。まさに「シルク」を生み出すだけのために存在するといいいほど。カイコからうまれたシルクは、セリシンとフィブロインというタンパク質でできているため、糸や織物のほか、化粧品や医薬品などにも利用分野が広がっています。



体験学習の様子



カラフルな まゆ細工



日本一大きなカイコ(幼虫)とさなぎの模型。
カイコの全長約2.4m!

MAP & アクセス

【車 で】中央自動車道駒ヶ根ICから約20分

【電車 で】JR 飯田線駒ヶ根駅からタクシーで約15分



お問い合わせ

駒ヶ根シルクミュージアム

駒ヶ根市東伊那482

TEL 0265-82-8381

URL <https://komagane-silk.com/>

Check!



駒ヶ根には中央アルプス千畳敷カールがあり、駒ヶ岳ロープウェイを使えば標高2,612mまで行く事ができます。また、ご当地グルメ「ソースカツ丼」の美味しいお店がたくさんあります。駒ヶ根シルクミュージアムと合わせて楽しみませんか。